

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

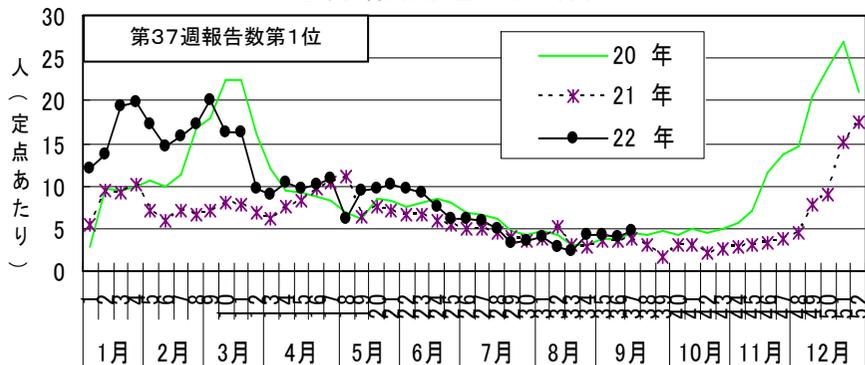


KAWASAKI CITY

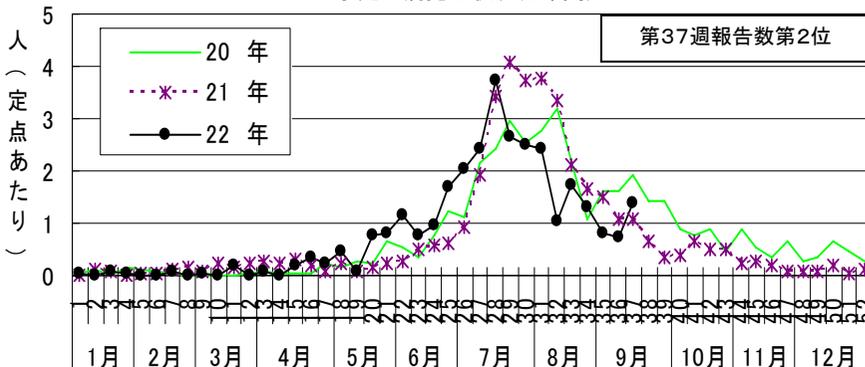
平成22年9月13日(月)～9月19日(日)〔平成22年第37週〕の感染症発生状況

第37週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎は定点あたり4.64人と前週(4.06人)に比較して患者報告数は増加しています。また、手足口病も定点あたり1.39人と前週(0.73人)に比較して患者報告数は増加しています。
 インフルエンザの報告が4件(川崎区3件、高津区1件)ありました。今後、インフルエンザシーズンを迎えることから、3インフルエンザの動向に注意が必要です。
 細菌性赤痢の届出が1件(推定感染経路:経口感染、推定感染地域:トルコ)ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



長引く「せき」はイエローカード!～結核予防週間～

結核は過去の病気と置いていたら大間違いです。日本では今でも、1日に68人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている重大な感染症です。川崎市内においても、今年で計268名の患者が報告されています。結核を他人事と考えず、もう一度結核について、この結核予防週間(9月24日から9月30日まで)に勉強しましょう。

結核ってどうやってうつるの!?

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。
 患者がせきやくしゃみをしたときに、空气中に飛び散る「しぶき」に含まれる結核菌を周りの人が直接吸い込むことによってうつります。これを「空気感染」といいます。

こんなときは医療機関へ!!

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。風邪かなと思う次のような症状が長く続くようなら、結核を疑って早めに医療機関で受診してください。

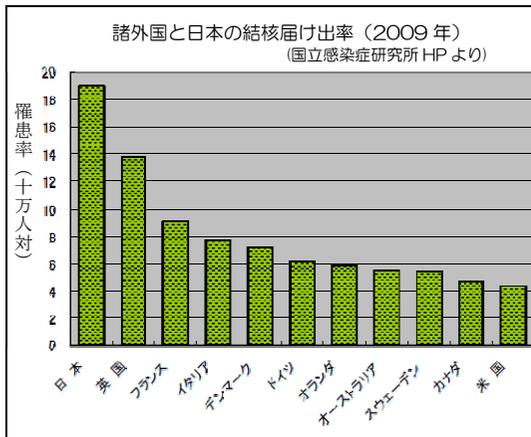
1. 咳(せき)が2週間以上続く
2. 痰(たん)がでる(血が混ざる)
3. 体がだるい
4. 微熱が続く
5. 急に体重が減る



感染したらどうなるの!? 予防方法は?

結核に感染しても、発病するのは10人中1～2人です。また、発病してもきちんと薬を服用すれば結核は治ります。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

乳幼児への結核発病予防には、BCGが有効です。また、十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事など免疫力を高めておくことも大切な予防方法です。



日本は他の先進諸国にくらべて結核罹患率(かかる確率)が高く、依然として「中蔓延国」とされています

諸外国のデータは、WHO Report 2009 Global TB Control より